◆子ども子育てプロジェクト（～効率的・効果的な人材マネジメントと子ども支援体制の強化～）

・園児のようすを把握している保育教諭を支援員として小学校へ派遣（期限付）し、**新１年生（通常学級）の児童支援の充実**と**幼小連携の強化**が図られる。
・保育教諭が定期的に学童保育所へも巡回することにより、タイムリーで綿密な情報連携と共通支援が図られる。



発達支援センター

・**保育教諭の発達支援センターへの配置や交流、研修等**の仕組みづくりから、**個別支援や少人数指導に係る人材育成**と多様な支援ニーズに対応する。
・**支援センター指導員の訪問支援**（保育観察、助言、少人数指導対応等）から適切な育ちの支援の充実が図られる。

TEACCH、CARE、ABA、PECS等の研修も受けているよ。



学　校



学童保育所



こども園保育教諭

現在、安定確保が困難な傾向にある教員免許所有の「特別支援教育支援員」について、大学から確保できた枠については、中学校へ優先配置することも示唆。

小学校への派遣保育教諭が、**学校での支援経験や子どものようすをこども園にフィードバック**することにより、就学にあたっての準備や幼児教育活動に活かされることが期待される。



こども園

少子化から将来的に保育教諭の過剰（配置基準を超える）が見込まれるが、**運営の多角化**（発達支援センター、学童保育所）から**人員整理や処遇水準の低下を防ぎ**、また、幼児教育のスキルを活かした学童指導が期待される。